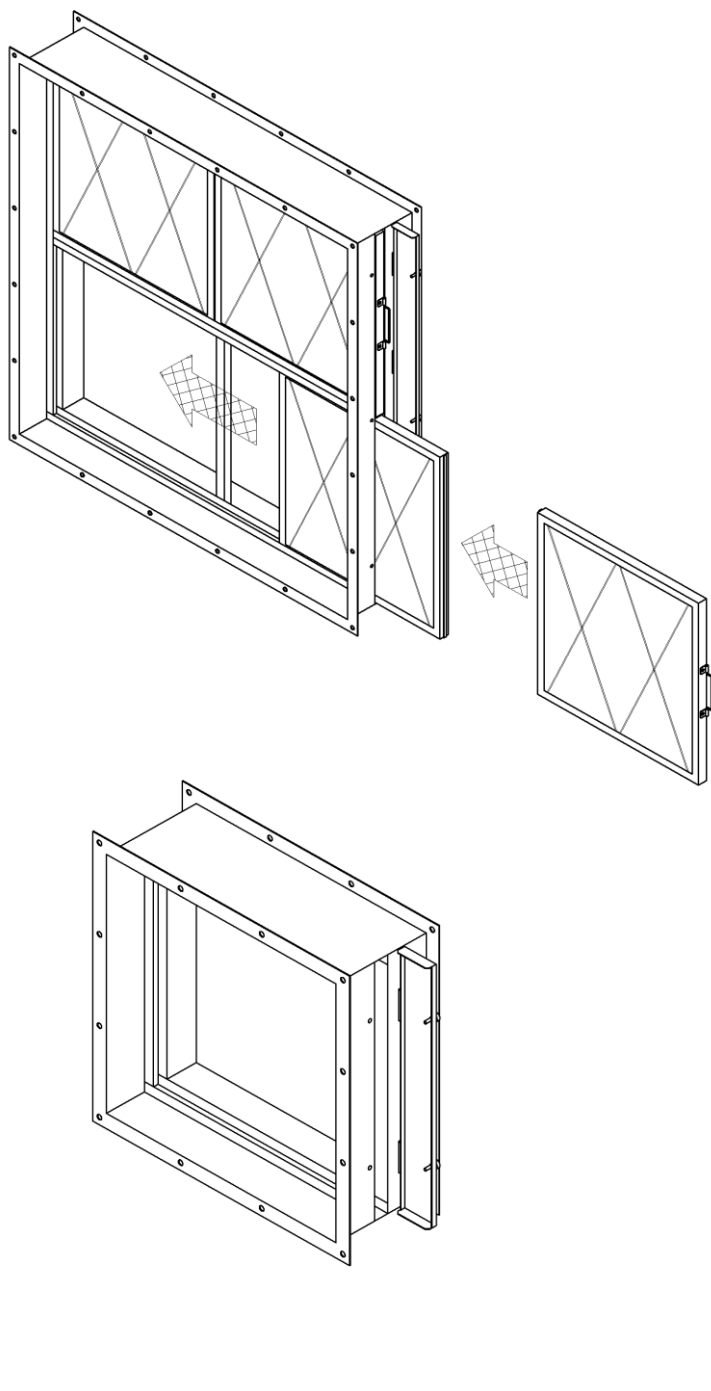


フィルターケーシング

ダクト接続型ケーシング



空気調和において、エアフィルターを設置するには、ケーシングや取付枠が必要となります。

使用環境により、フィルターやケーシングは多種多様です。

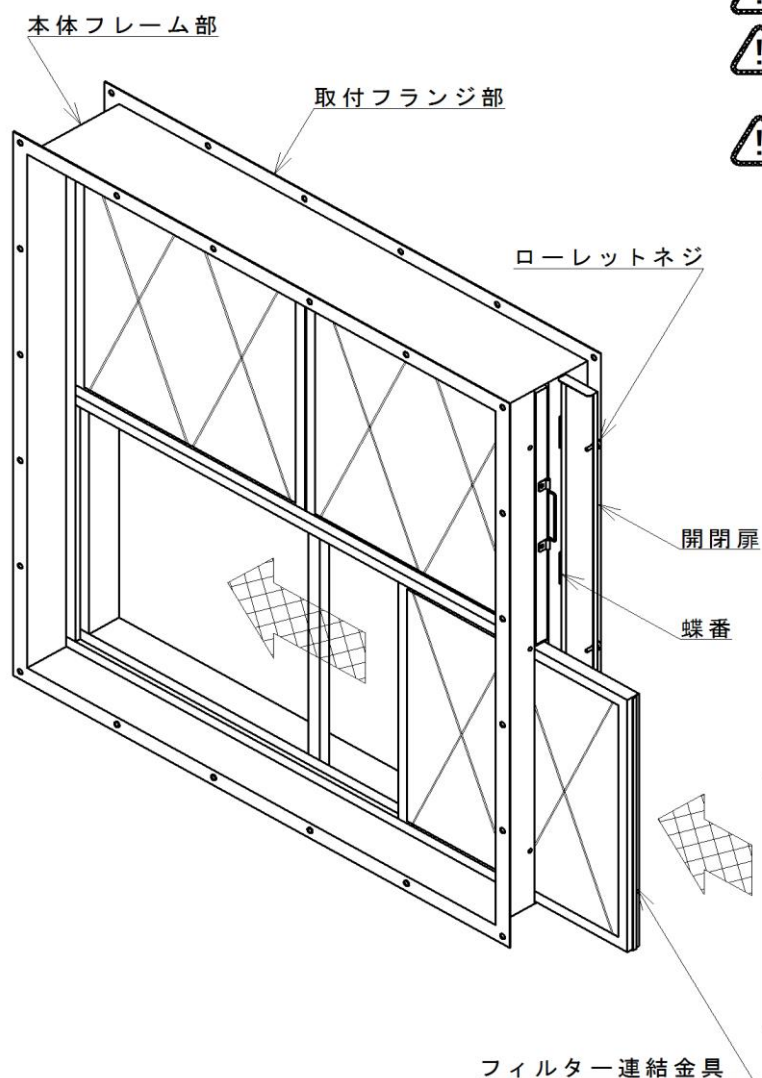
弊社では、お客様の使用する環境、条件に合わせてフィルターとケーシングを一体で設計可能です。

材質については鋼板製、ステンレス製、アルミニウム製などで製作が可能です。また、図の様なタイプの粗塵用フィルターや中性能フィルターを取り付ける、ダクト接続型の他に壁面やガラリに取り付ける横抜き型やケドン式など、各種の取付枠やケーシングを設計、製作いたします。




横引きフィルターケーシング

安全上のご注意と、フィルター取付方法

横引きフィルターケーシング



安全上のご注意

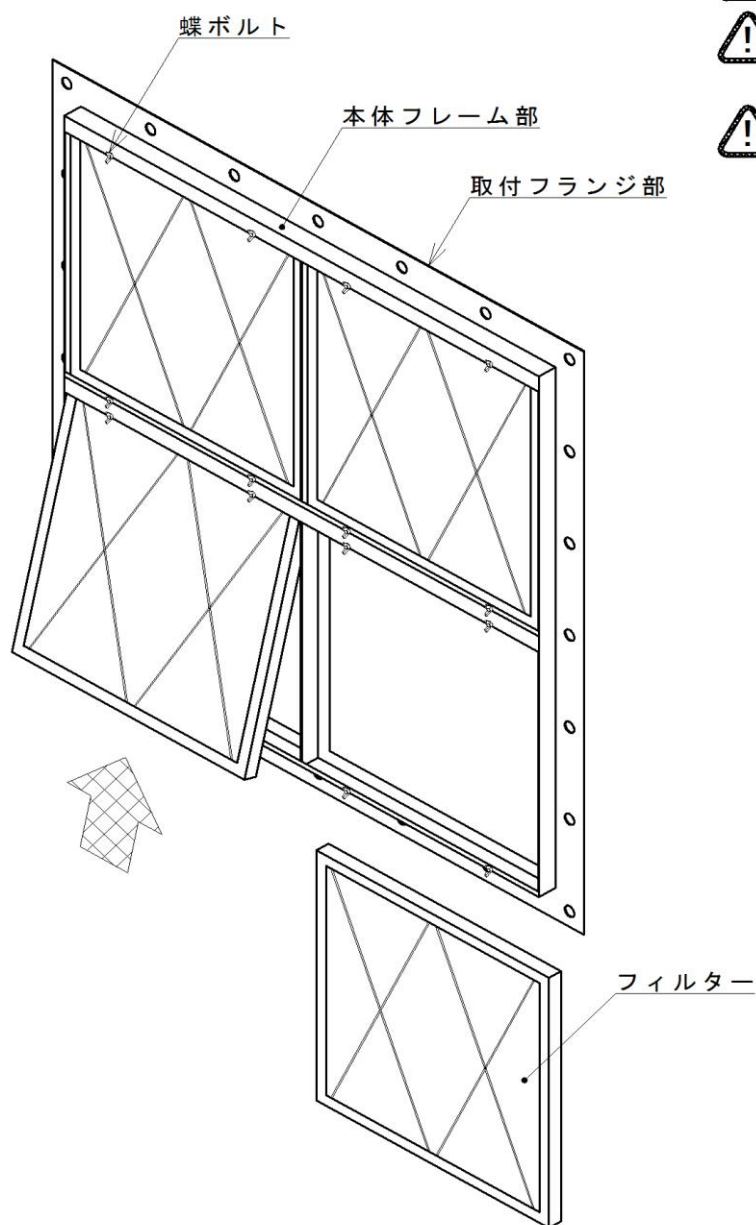
-  **警告** 機器からフィルターを取り外す際には本体の電源を切って下さい。
-  **警告** 高所での作業となる場合にはフィルターやその他の部材の落下に注意し頭上の保護を行って下さい。
-  **注意** 作業の際は手袋を着用して下さい。

フィルター取付手順




- 手順1. 気流方向を確認し奥側のフィルターから1枚ずつ組み込みます。
- 手順2. フィルター同士を連結金具で接続しながら順に組み込みます。
- 手順3. 全てのフィルターを組み込み、異常が無ければ、サービス扉を閉め、ローレットネジで固定します。

ケンドン式フィルターケーシング

安全上のご注意と、フィルター取付方法



安全上のご注意

-  **警告** 機器からフィルターを取り外す際には本体の電源を切って下さい。
-  **警告** 高所での作業となる場合にはフィルターやその他の部材の落下に注意し頭上の保護を行って下さい。
-  **注意** 作業の際は手袋を着用して下さい。

フィルター取付手順

- 手順1. 蝶ボルトを緩め、フィルター取付の準備をします。
- 手順2. フィルターのサイドを両手で持って矢印の様に上側のレールに差し込み下へ落とし込みます。
- 手順3. 組み込みに異常が無い様であれば、前面の蝶ボルトを締め込み、フィルターを奥当たりにして、ガタ付きが無いように密着、固定します。

※蝶ボルトなど押さえ金具を使用しないタイプもあります。

フィルター取扱に関する注意事項

1. 運搬上の注意

- (1) フィルターを手運びする際には両手でしっかりと抱き上げる様にして下さい。肩や頭上にかつぐなどの方法による運搬は行わないで下さい。
- (2) フィルターを床などに置く際には破損しないように静かにおいて下さい。誤って落としてしまうと、フレームやろ材に損傷を与える場合があります。万が一、落としてしまった場合には、必ず開梱し損傷の程度をご確認下さい。損傷の度合いによりそのフィルターを使用できない場合があります。
- (3) トラック等に積載する場合、横積みしないで下さい。
- (4) 水濡れは厳禁です。雨水などの影響が無いように注意して運搬して下さい。

2. 保管上の注意

- (1) フィルターは直接床に置かずパレットを敷くなどして床とフィルターの間に隙間を設けて下さい。
- (2) 高温多湿の場所を避けて、常温（0～40℃）常湿（30～90%）で保管して下さい。結露や直射日光は厳禁です。
- (3) フィルターは横積みしないで下さい。
- (4) 保管期限は1年間を目安とします。期限を過ぎたフィルターをご使用になる際には性能の確認を行う必要があります。

3. 使用上の注意

- (1) フィルターは機器の仕様や図面の指示に従い、空気が流れる方向やろ材の目に注意して取り付けを行って下さい。
- (2) ガasket付のフィルターを締め付ける場合にはガasket全面を均一に締め付けるようにして下さい。尚、一度圧着したガasketは、基本的に交換時まで取り外さないようにして下さい。
- (3) フィルター取り付け後は試運転を行って下さい。
- (4) 通風運転の開始時や停止時は急激な動作を避け、段階的に通風や停止を行って下さい。
- (5) 計測可能な場合、通風開始後、初期に圧力損失値を記録して下さい。
- (6) フィルターに水滴が入ったり、結露する環境では使用しないで下さい。
- (7) 空気中に有機溶剤が含まれる状況では使用しないで下さい。
- (8) 空気濾過用以外の用途には使用しないで下さい。
- (9) フィルターの通気が悪くなると機器の能力が低下します。フィルターの目が詰まったり、最終圧損値に至った場合、プレフィルター等、再生可能なフィルターについては定期的な清掃及び交換、中高性能フィルターの場合は定期的な交換を速やかに行ってください。